

松風橋



松風橋を下流側から望む



旧道（讃岐街道）の小林と中村の境、古子川に架かる橋が松風橋である。風留地区と松ノ木地区をつなぐことから、「松風橋」と名付けられている。道路に架かる橋としては、県下で唯一のレンガづくりのアーチ橋で、明治30年代の築造と言われている。

4重のアーチ部分は長手積み、壁面は、レンガの長い面だけの列と短い面だけの列を交互に積んでいくイギリス積み。

親柱には、「まつかぜばし」の文字が刻まれている。また、半分埋もれていて、確認はできないが「三島迄二里三…」 「土居迄十…」の文字が見える。